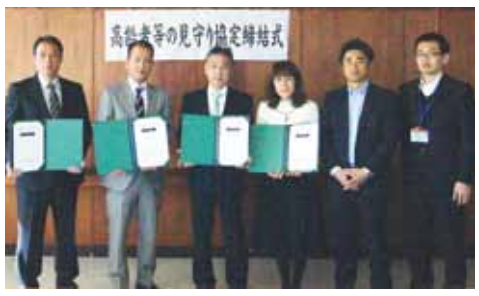
まちかどニュース

身近なイベントや、まちかどの話題を皆さんから募集しています。

「高齢者等の見守り活動に関する協定」を締結

1月21日、市は、ヤマト運輸株式会社埼京主管支店・佐川急便株式会社練馬営業所・多摩きた生活クラブ生活協同組合と「高齢者等の見守り活動に関する協定」を締結しました。

この協定は、支援が必要と思われる高齢者などを発見した時に、その状況を速やかに市や地域包括支援センターに通報することで、市民の安全・安心な生活に寄与することを目的としています。

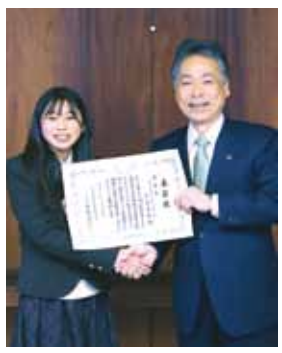


市長（左から３番目）と、佐川急便株式会社練馬営業所・ヤマト運輸株式会社埼京主管支店・多摩きた生活クラブ生活協同組の皆さん

「社会を明るくする運動」作文コンテストで清瀬の児童が優秀賞を受賞

平成27年10月14日、東京保護観察所（千代田区霞が関一丁目）で「第65回社会を明るくする運動作文コンテスト」の表彰式が行われました。今年は、東京都全体で1万千114点（小学生3千228点・中学生7千886点）の応募があり、都内の小学生部門で、霍田真麻さん（七小6年）が優秀賞を受賞しました。

このコンテストは「社会を明るくする運動」の一環として、全国の小・中学生が、学校生活などで体験したことを基に、犯罪や非行などに関して感じたことを書くことで、運動に対する理解を深めることを目的として行われています。


霍田さん（左）と市長

「清瀬市消防団出初式」を開催

1月9日、神山公園で「清瀬市消防団出初式」が開催されました。

当日は、優良分団（※）や団員などの表彰が行われた他、徒列行進、消防操法、一斉放水などが披露されました。

（※分団＝担当地域別でいう班のような組織）

消防団による一斉放水

「清瀬市成人記念式典」を開催

1月10日、清瀬けやきホールで、「平成28年清瀬市成人記念式典」が開催されました。同級生との再会を楽しみ、近況を語り合う新成人の皆さんで、会場は晴れやかな雰囲気に包まれました。

清瀬市では、平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれの699人が、今年成人式を迎えました。

晴れ姿の新成人

3本の木とともに

成人式で、昨年身近な所で起きた、三つの奇跡的な出来事の話をしました。一番の奇跡は、心肺停止状態から生き返ったことです。私が31年前に創業し、今千800人の会員の皆さまにご利用いただいているスポーツクラブで、休日にコーチたちが川遊びに出掛けたのです。その中の学生コーチが飛び込みの岩場で足を滑らせ川に落ち、行方が分からなくなりました。約10分後に20～30㍍下流で血だらけで浮かび上がり心肺が止まっていました。仲間たちがすぐさま心臓マッサージ、人工呼吸に取りかかり息は吹き返したものの、意識は戻りませんでした。

しかし、ありがたいかな、2週間後に意識は回復し、今では大学に通えています。見えない力に助けていただいたと私は思っています。だから、成人式で、「見える所はもちろんのこと、見えない所にもしっかりと感謝して生きていくことが大事だ、そうしたら人生の道が開いていく」と助言しました。

その5日後、立川駅の本屋で「ありがとうの神様（小林正観著）」という本に出会いました。具体的な事例がたくさん載っていて、末期がんの人が「ありがとう」を約3か月で10万回唱えたらがんが消えていたなどなど、不思議な事例が満載です。

いずれにしろ「感謝」を大事にして生きていこうと助言したのは時宜を得ていたと確信しました。成人たちは静かにしっかりと話を聞いてくれ、二部の城野謙一さんグループのフォークソングでは会場がとても和やかになり、私は涙が出てしまいました。

中村清治議員も涙ぐみ、その心情を詩に書きました。『涙ぐむ成人式』

人生の中で一回の出会い　永い永い時の流れの中で　一瞬まばたきをした様な驚きと感動に　心が癒された未来ある20歳の青春　着飾ったその姿に　父母の微笑みが目に浮かぶ　フォークシンガーとコラボした若者の姿に　感激の涙が頬をつたわる　さあ　心も美しく素直な幼子のように人生に向かおう　きっと誰もが持っていた心の鏡に　自分の姿を映そう　今日ながした涙を　ずっとずっと忘れない　そんな青春の一コマが成人式にあった　ありがとう　二十歳のみんなに伝えたい　ほんとうに　ありがとう」。

本当に最高の成人式でした。未来は明るいです。

清瀬市長　渋谷金太郎

清瀬こども俳句

小・中学生の俳句を紹介するコーナー。ぜひご応募ください。

選評＝石田波郷俳句大会実行委員会

●みつけたよかわいいくろいだんごむし　二年　寺島奈央

（評）だんごむしはワラジムシ目の小さな甲殻類。敵に遭遇すると丸く団子状になる。日本国中にいて、害虫だが、子どもにはよい遊び相手。だんごむしは季語ではないが、2年生ならば、この五七五のまとめ方で上出来だ！

●めろんはねしましまいっぱいひびみたい　二年　平沼柊朔

（評）2年生の俳句学習では、季節の言葉「季語」を入れて五七五にすることを学ぶが、この句はその二つの課題をみごとにクリア。メロンが夏の季語。しかも、縞々を「ひびみたい」とした作者独自の詩心がすごい！

●おじいちゃんやきゅうのコーチかっこいい　三年　村山晴乃

（評）この句も、おとなの俳句のつくり方で言えば「季語」がないということになるが、それよりも何よりも大切な「かっこいい」という作者の感動が読者にビンビン伝わってくるのが素晴らしい！　感動が素直に五七五になったね。

●だんごむし冬はとうみんみんなでね　三年　寺島由華

（評）3年生になると、同じだんごむしで俳句を作っても、五七五にまとめるだけでなく、ちゃんと「季語」が入ってくる。そして、冬眠するんだというのも、一つの発見。俳句は「発見」を五七五にするんだよ。

※今回の俳句は、四小（まなべー）で行った「俳句学習」からの選句です。

投稿募集中　あなたも市報に参加しませんか

「まちかどニュース」「がんばりすと」への投稿を募集しています。

応募方法・問合せ　1日号・15日号ともに掲載希望号の1か月前（いずれも必着）までに、写真（データが望ましい）に説明（いずれも150字程度）を添えて、住所・氏名・電話番号を記入し、直接または郵送、メールで秘書広報課広報広聴係☎497・1808へ

猫の飼い主の皆さんへ～飼育マナーの向上にご協力を

フン尿による被害の苦情が寄せられています。交通事故や感染症、猫同士のけんかなどから守るため、また、ご近所とのトラブルを避けるためにも、室内で飼いましょう。

★猫を飼う方は、次の飼養の４原則を守りましょう。
①猫は屋内で飼育する②不妊・去勢手術をする③身元の表示をする④飼い猫を捨てることは絶対にしない

3月は無料お試し期間　「脳トレ元気塾」３月体験コース

～カラオケと運動で脳トレ～

カラオケに合わせ運動して認知症予防をしてみませんか。

対象　おおむね65歳以上の方
日時・場所　下表のとおり
費用　無料（３月はお試し期間。通常は１回に付き200円）
※いずれも直接会場へ。
問合せ　地域包括ケア推進課地域包括支援センター☎497・2082または下記各コース開催団体へ

コース名・問合せ先	日時	場所
ゆうゆう元気塾（NPO法人情報労連東京福祉センター☎497・8500）	3月2日・9日・16日・23日・30日の水曜日 午前10時～11時30分	コミュニティプラザひまわり ※清瀬駅北口から送迎バスあり。
しんあい元気塾（きよせ信愛地域包括支援センター☎492・1850）	3月3日・10日・17日・24日・31日の木曜日 午後1時15分～2時45分	特別養護老人ホーム信愛の園（梅園二丁目） ※車での来場はご遠慮ください。清瀬駅北口から送迎バスあり。
せいが中里元気塾（きよせ清雅地域包括支援センター☎495・1370）	3月17日・24日の木曜日 午後1時30分～3時	中里地域市民センター ※車での来場はご遠慮ください。